

Net.Do

TG 48



製品の特徴

この度はNet.Do 製調光卓「TG 48」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。



NET.do「TG 48」はシンプルな24chx2 48CH DMXコンソールです。パッチ機能を持たないシンプルな調光卓ですが、サブマスター 9x8 72本搭載、チェースマスター 3x8 24本搭載しています。(各最大120ステップ)

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。
火災や感電のおそれがありますので使用には充分ご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。
また、高温を発する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天、霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



スモークマシンなど湿気の多い場所での頻繁な使用は避ける。
反射ミラーの劣化など、故障の原因になります。

目次

1. 概要	3	4. レコーディングとラン	7
仕様	3	マニュアルコントロール	7
パラメーター仕様	3	レコーディングと編集	7
2. 機能	4	シーンを記録する	7
電源を接続する	4	シーンの削除	7
オーディオ信号ソース	4	チェイスの編集	7
デジタル調光器の接続	4	ラン	7
安全上の注意	4	シーンの実行	7
3. オペレーションガイド	5	チェイスの実行	7
フェーダー	5	5. データの初期化	8
キー	6		
背面ボードポート	6		

1. 概要

仕様

- DMX512 / 1990 標準、24/48 DMX チャンネル、光学的に絶縁された出力
- 48 調光チャンネル。
- 24 プリセットフェーダー、12 サブマスターフェーダー。
- 96 シーン（8 ページ）。
- 24 チェイス、最大 120 ステップ
- トリガモード選択可能：サウンド / オート
- バックライト付き LCD ディスプレイ
- 電源：AC100-240V / 50-60Hz

パラメーター仕様	
DMX512/1990 信号出力	○
制御可能 DMX チャンネル	48
ディマーチャンネル	48
シーン最大	96
チェイス最大	24
チェイススピード	0.03s~180s
チェイストリガーモード	オート / サウンド
チェイス方向	前方 / 反転
LCD モニター	有
音調入力	ライン入力 (1/4" モノラル オーディオ / マイク入力)
DMX 出力ポート	オプティカルアイソレート
消費電力	5W
寸法	482 x 310 x 95 mm



2. 機能

電源を接続する

電源電圧を確認して、コントローラの適切な電圧範囲にあることを確認してください。安全のため、プラグは保護接地線と接続する必要があります。

TG48 製品内容

- TG 48 照明コントローラ x 1 台
(コントローラのモデルを確認するには、コントローラを起動するときに LCD モニタに表示されるモデル番号とソフトウェアのバージョン番号を確認してください。)
- フォードケーブル x 1
- ユーザーガイド x 1

TG48 は、国際的な 19 インチの施工基準を満たしています。19 インチスタンダードまたはマシンキャビネットに取り付けることが可能です。

オーディオ信号ソース

- オーディオ信号は、他のオーディオデバイスのサウンドミキシングコンソールおよびラインレベル出力、または MIC 選択から選択できます。コントローラは、チェイスプログラム音楽トリガー信号として、低域スイングの一部を自動的に選ぶことができます。
- 1 つのアンバランスなモノラルオーディオ入力があるバックボードにあり、ラインレベル入力の範囲は -10dB ~ +10dB です。オーディオデバイスがプラグインされている場合、オーディオソースはラインレベル入力です。プラグインがない場合、オーディオソースは MIC が選択されます。

デジタル調光器を接続

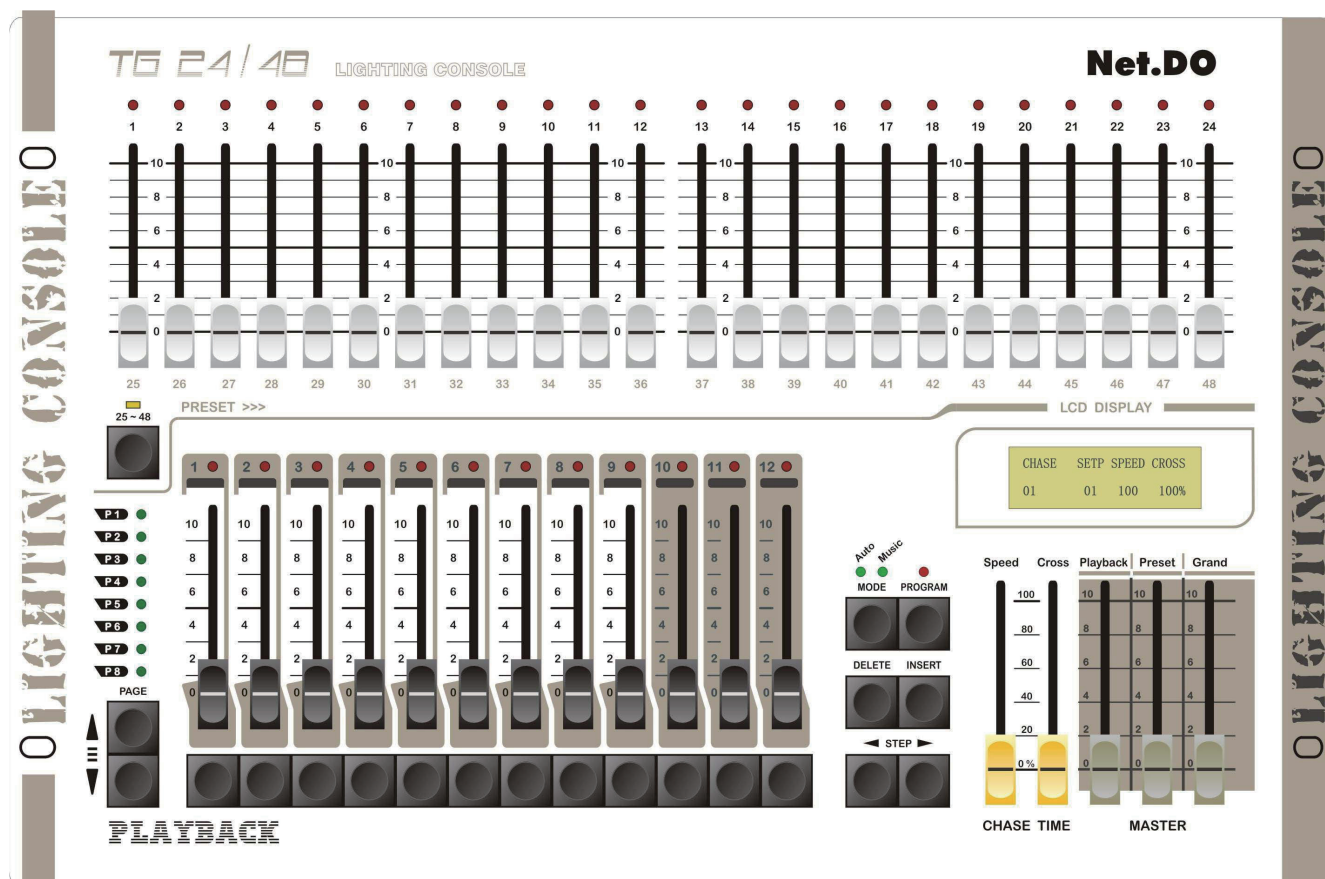
- コントローラのリアパネルには 2 つの DMX512 XLR-D5F 出力ソケットがあり、グラウンド用のピン 1、ネガティブ用のピン 2、プラス用のピン 3 があります。
- DMX512 ケーブルはツイストワイヤーでスクリーンされています。ケーブルの各端は XLR プラグにユーザーが接続する必要があります。XLR プラグの 1 番ピンがケーブルのスクリーンネットに接続されています。プラグの 2 番ピンと 3 番ピンにそれぞれ 2 本のねじれ線（異なる色によって区別される）が接続されています。混同しないでください。

ピン番号	ケーブル
1	シールド
2	ネガティブ (-)
3	ポジティブ (+)
4	Null
5	Null

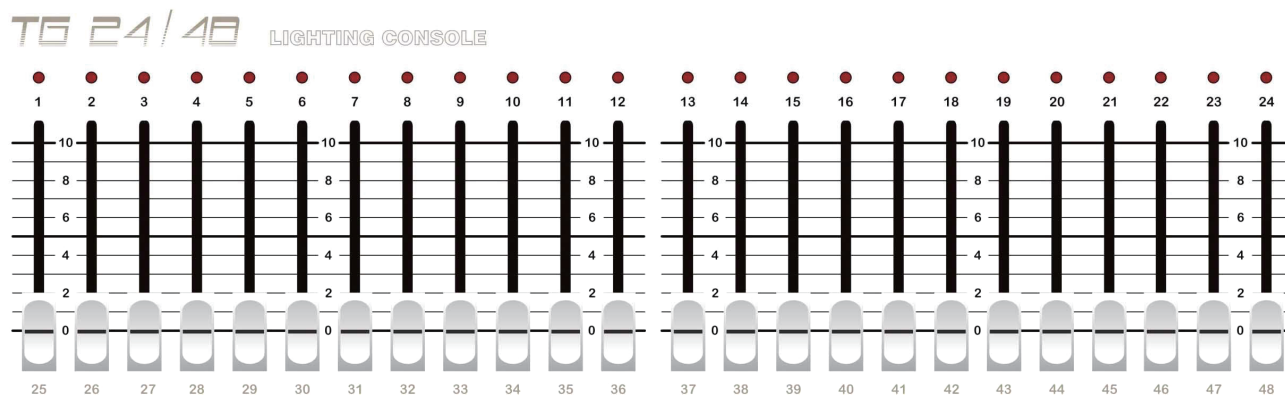
安全上の注意

- コントローラは安全を確保するためにアース線に接続する必要があります。
- 精密機器ですので、ほこりや湿気にご注意ください。

3. オペレーションガイド

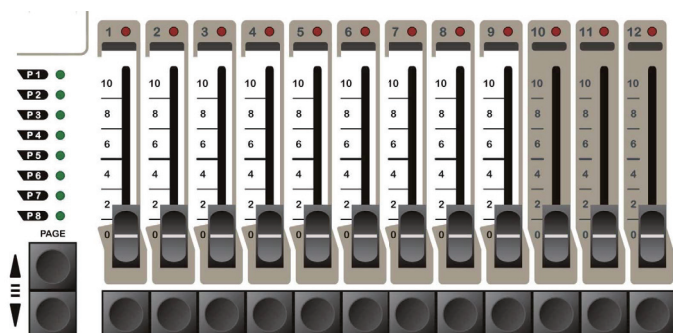


フェーダー



プリセットフェーダー CH1~CH24

フェーダースイッチ 1 ~ 24 または 25 ~ 48 チャンネルをコントロールするには、25 ~ 48 キーを使用します。



サブマスターフェーダー

1. SUBMASTER 1 ~ 9 は、シーンを再生するためのみ使用できます。
2. SUBMASTER 10 ~ 12 は、シーンやチェイスの再生に使用できます。

PAGE キー

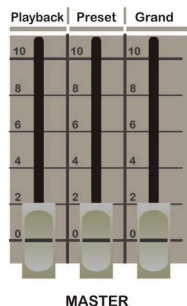
PAGE-UP と PAGE-DOWN キーを使用してページをめくると、P1-P8 の LED がページ番号を表示します。

FLASH キー

各サブマスターにはフラッシュキーが付いており、サブマスターフラッシュが可能です。

MASTER フェーダー (全 3 種)

1. プレイバックマスターフェーダー
2. プリセットマスターフェーダー
3. グランドフェーダー

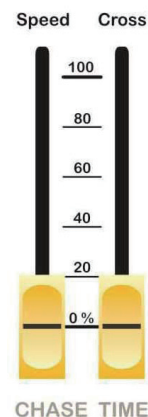


SPEED フェーダー

このフェーダーを使用して、オートモード時のチェイススピードを 0 ~ 100% で制御します。

CROSS フェーダー

このフェーダーを使用して、チェイスステップのフェードを 0 ~ 100% で制御します。



キー

MODE キー

チェイスのトリガーモード。チェイスはトリガーモードを 2 種持っています。

Auto チェイス速度を SPEED% と CROSS% で制御します。

Music チェイスが音楽と連動します。

MODE キーを押し続けると、チェイスモードが循環して変更されます。

PROGRAM キー

このキーを押すとプログラミング状態に入り、LED が点滅します。キーをもう一度押すと、プログラミング状態を終了します。

INSERT(+), DELETE キー

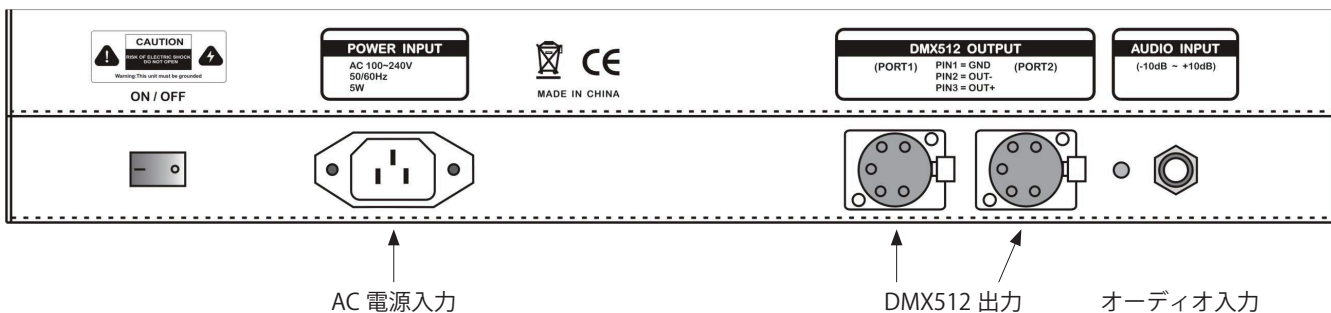
プログラミングモードでは、2 つのキーを使用して CHASE-STEP の増加、挿入、削除操作を実行できます。

◀ STEP ▶ キー

チェイス操作では、このキーを使用してチェースの方向を変更します。プログラミング状態では、チェースステップを選択するために使用されます。

背面ボードポート

- ・ コントローラーは光学的アイソレートされ、同じ出力を持つ 2 つの DMX512 出力モジュールを採用しています。
- ・ オーディオ入力ソケットは 1/4 インチモノフォニックソケットで、入力ラインレベルは 0dB です。オーディオデバイスがプラグインされている場合、オーディオソースはラインレベル入力です。プラグインがない場合、オーディオソースは MIC の選択です。



4. レコーディングとラン

マニュアルコントロール

1. GRAND MASTER を押し、PRESET MASTER フェーダーを最大にします。
2. PRESET フェーダーを押してチャンネルの値を変更します。

レコーディングと編集

SUBMASTER フェーダー 1 ～ 9 のみシーンを録音でき、10 ～ 12 はシーンやチェイスを録音できます。

シーンを記録する

1. GRAND を押し、PLAYBACK MASTER フェーダーを最大にします。
2. PRESET フェーダーを押してチャンネルの値を変更します。
3. INSERT (+) キーを押しながら SUBMASTER キーを押すと、現在の照明効果がシーンに記録されます。

シーンの削除

DELETE キーを押しながら SUBMASTER キーを押して削除します。

チェイスの編集

1. PROGRAM キーを押してプログラムに入ると、LED が点滅します。

PROGRAM ...
Select chase

2. SUBMASTER キーを押してチェイス番号を選択します。
列：Edit Page 8, chase 10 ——,
サブマスターページの 8 ページに戻り、SUBMASTER キー 10 を押します。
3. チェースステップ、チェイス番号を追加するには、INSERT (+) を押してください。

P-CHASE: (8.10)
tol = 001 st[*] 1]

トータルステップ 現在のステップ

4. PRESET フェーダーを押してチャンネルの値を変更します。
5. ステップ 3 ～ 4 を繰り返して、次のチェイスステップを編集します。
6. PROGRAM キーを押して終了します。（または、ステップ 2 ～ 4 を繰り返して別のチェイスを編集します。）

ポイント

- ・ チェースステップの削除は、DELETE キーを押します。
- ・ チェースステップの選択は、◀ STEP ▶キーを使用します。
- ・ INSERT (+) キーを押してチェースステップを追加します。

チェースステップが最後の場合、それが表示されます。
(例：10 は最後のチェースステップ、LCD は x10 を表示します)

ラン

UBMASTER フェーダーを押し、関連するシーンとチェイスを走らせます。

シーンの実行

PLAYBACK (8.01)
Scene.....

SUBMASTER が記録されていない場合、LCD には以下の情報が表示されます。

PLAYBACK (8.01)

チェイスの実行

チェイスの実行時、LCD に以下が表示されます。

CHASE: (8.10) ← チェイス番号
[auto] [>] 1#
↑ ↑ ↑
トリガーモード 方向 現在のステップ

例：ページ 8 の 10 番目のチェイスを実行します。

1. PAGE キーを押してページ 8 に進みます。
2. SUBMASTER フェーダー 10 を Chase 10 に押します。

ポイント

- ・ サブマスターキーを押してシーンまたはチェイスをフラッシュ実行する
- ・ Submaster (サブマスター) キーを押し、Submaster (サブマスター) シーンやチェイスをフラッシュ走行させます。
- ・ 現在のチェースのトリガーモード。(チェイスには 2 トリガモードがあります)

Auto: チェイス速度を SPEED% と CROSS% で制御します。

Sound: チェイスが音楽と連動します。

MODE キーを押し続けると、チェイスモードが循環して変更されます。

- ・ 現在のチェイスのオートモード：SPEED% と CROSS%
 - ・ SPEED% フェーダーは、現在のチェイスのスピードを 0 ～ 100% で制御します。
 - ・ CROSS% フェーダーは、チェースステップのフェーダーを 0 ～ 100% で制御します。



5. データの初期化

手順

1. PROGRAM キーを押しながら、LCD 画面に "=== PASSWORD ===" と表示されるまで電源を押します。
2. 数字キー 1,2,3,12 を同時に押します。
3. システムは初期化後自動的に再起動します。

その他機能

注意: この紙を保管してください。パスワードを忘れた場合は、小売店に連絡してください。

(A) パスワードを使用して開始する

1. PROGRAM キーを押しながら、LCD 画面に "=== PASSWORD ===" と表示されるまで電源を押します。
2. 数字キー 1,2,11,12 を同時に押します。

(B) 開始パスワードをキャンセルする

上記 (A) の手順を繰り返します。

- パスワードを有効にすると、コントローラを起動するたびにパスワードが必要になります。
 - 数字キー 1,2,11,12 を同時に押します。

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限会社が制作しています。
発売元：IDE コーポレーション有限会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24